

あいち農産物生産流通レポート

平成24年10月号

情報サロン		
・「あいちの農林水産フェア」を開催します	(食育推進課)	1
地域トピックス		
・尾張果樹振興会ぶどう部会の現地研究会が開催されました	(尾張農林水産事務所)	2
東日本情報		
・「在京流通行政連絡会」の活動について	(東京事務所)	3
西日本情報		
・第40回全国力キ研究大会が愛知で盛大に開催されました	(園芸農産課)	5
フラワーページ		
・担当者として感じた花き販売の現状と県内花き産地に向けた提案 (愛知県経済農業協同組合連合会 園芸部東日本営業所 杉浦正和)		7
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		9
・名古屋・東京市場における青果物の10月の見通し		10
花 き		
・切花・鉢花の10月の見通し(県内市場)		22
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2012年7月)		26
関連指数		27

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

「あいちの農林水産フェア」を開催します

県民の皆さんに愛知県の農林水産業に触れ、食育や地産地消について楽しく学んでいただくため、「あいちの農林水産フェア」を開催し、新鮮な県産農林水産物やその加工食品などを販売します。

ご当地グルメを集めたイートインコーナー、体験イベントやクイズラリーなど、家族揃って楽しめる内容となっています。

なお、本年度は、JAグループ愛知の農畜産物PRイベント（あいちの農林水産フェアin金山）と共催して開催します。



昨年度のフェア開催状況

区分	主催事業	共催事業 (愛知県JA大会記念行事)
名称	あいちの農林水産フェア	あいちの農林水産フェアin金山
事業主体	あいちの農林水産フェア実行委員会 (構成員：愛知県、名古屋市、愛知県農業協同組合中央会、愛知県経済農業協同組合連合会)	主催：JAグループ愛知 共催：あいちの農林水産フェア実行委員会
日時	平成24年11月15日(木)～20日(火) 10:00～19:00(20日17:30終了)	平成24年11月15日(木)～16日(金) 11:00～18:00
場所	丸栄8階大催事場(メイン会場)	金山総合駅連絡通路橋、 明日なる!広場(サテライト会場)
内容	・県産農林水産物の紹介と販売等 ・県産農林水産物を活用した加工食品の紹介と販売等 ・県産農林水産物を活用した主催者企画(餅つき、菜種の搾油体験、食育検定、エコ畜産物試食等)	・地元農畜産物及び加工品の紹介と販売 ・学校給食を通じた地産地消と食農教育の紹介 ・あいちの野菜を使った料理レシピの紹介と実演等
出展者数	55	26(JAグループ)
入場料	無料	

問い合わせ先

愛知県農林水産部食育推進課 消費・食品表示グループ
電話052-954-6434(ダイヤルイン)

尾張果樹振興会ぶどう部会の現地研究会が開催されました

尾張果樹振興会ぶどう部会の現地研究会が、平成24年9月12日(水)に農業総合試験場園芸研究部にて開催され、尾張管内の生産者をはじめ29名が参加しました。

はじめに、園芸研究部落葉果樹研究室の上林主任研究員が「シャインマスカット」「クインニーナ」「サンヴェルデ」の品種特性と栽培技術について説明しました。園芸研究部では愛知県版「シャインマスカット」栽培マニュアルを作成しており、マニュアルに沿って栽培すれば高品質のものが生産できるとのこと



でした。「シャインマスカット」は県内では2～3年前から導入され今年から店頭でみられるようになりましたが、全国的にも爆発的な勢いで増えており、名前も充分売れているので、導入するなら早いうちに、高品質なものを作ることが重要とのことでした。



その後、研究ほ場で「シャインマスカット」などの栽培状況を見学しました。仕立てや施肥の方法、品種の特性など実際に栽培されているものを見ながら活発な意見交換がなされました。

最後に今後の品種選定の参考にと、主要品種の食味比較を行いました。農政課と農業改良普及課、試験場の協力のもと「シャインマス

カット」をはじめ18品種が用意され、自由に食べ比べをしてもらい最後に人気投票を行いました。18品種を一度に試食できる機会は滅多になく、数の多さに驚きながら食べ比べをする姿や、メモを取りながらじっくりと一つ一つ吟味する姿も見られました。投票の結果、「クインニーナ」が1位、「シャインマスカット」が2位となりました。1位と2位



は僅差でしたが「クインニーナ」のほうが大粒で甘みが強く、ほどよい酸味もあり固い肉質ということが支持されたようでした。

「在京流通行政連絡会」の 活動について

農産物流通形態が複雑化し、産地間競争も激しくなっている中、当グループは、日本一の青果市場である東京都中央卸売市場大田市場内に駐在し、多様化する日々の市場における農産物の動向や、他県競合産地の情勢、大消費地である首都圏の消費動向などの情報を流通業界関係者などとの情報交換で収集し、県内に向けて発信しております。また、各種イベントに参加することにより、本県農産物のPRに日々努めているところであります。

他県もまた同様な組織で活動しております。このような東京に事務所を置く農産物流通に携わる行政機関をもって「在京流通行政連絡会」(以下「連絡会」という)という団体が組織されています。全国各地から21県が加入しており、愛知県もそのメンバーの一員となっております。今回は、この「連絡会」の活動内容等について紹介します。

1 「連絡会」の事業内容について

(1) 情報交換会を開催

農産物の生産・流通・消費に関する情報・意見交換を行うための情報交換会を開催。

(2) 講演会・研修会の開催

農産物の生産・流通・消費に関する情報収集や研究を行うため、講師を招いて講演会や研修会を開催。

(3) 先進地視察研修会の開催

農産物の先進的な取り組みの調査研究のための視察研修会開催。

(4) 農産物流通情報の収集・発信

会員各県での取り組みや、会員相互の情報交換の場を提供。

このような「連絡会」活動へ積極的に参加し、広範囲わたる農産物生産・流通に関する情報の収集・提供に、より一層努めていきたいと思っております。

2 参考(会員各県の活動概要等)

「連絡会」主催で行われた情報交換会で出された資料等をもとにまとめたものです。

「連絡会」会員の概要

会員県	職員数	主な業務内容()	農業産出額 (h22) 億円	東京都中央卸売市場 23年取扱 (億円)				アンテナショップ設置
				合計	野菜	果実	花き	
青森	1		2,751	297.1	144.8	149.3	3.0	
秋田	3		1,494	126.5	48.0	73.0	5.6	
山形	3		1,986	153.5	43.3	84.3	26.0	
福島	2		2,330	147.9	92.9	32.9	22.1	
茨城	9		4,306	497.9	372.8	84.8	40.4	
栃木	2		2,552	255.6	118.8	106.2	30.6	
群馬	3		2,226	244.8	211.9	8.2	24.7	
千葉	4		4,048	480.2	366.8	41.0	72.4	×
富山	1		615	3.4	0.5	1.8	1.1	
山梨	4		790	109.8	5.4	95.2	9.1	
長野	1		2,243	307.2	195.0	69.2	43.0	×
愛知	3		2,962	308.0	166.6	23.7	117.7	×
徳島	3		1,002	49.5	46.8	1.4	1.3	
香川	2		747	28.9	22.8	3.6	2.5	
愛媛	1		1,262	135.9	4.0	129.1	2.8	
高知	2		930	175.3	155.2	4.9	15.2	
佐賀	2		1,204	118.2	44.7	70.9	2.5	×
熊本	3		3,071	199.5	91.3	95.3	12.9	
大分	2		1,312	20.3	8.6	5.3	6.4	
宮崎	4		2,960	100.6	73.0	21.8	5.8	
鹿児島	2		4,011	106.1	90.1	5.2	10.8	

主な業務（「連絡会」情報交換会資料改）

農産物流通情報の収集・発信に関すること

農産物・農産加工品の販路拡大に関すること

首都圏におけるPRイベントに関すること。

産地と実需者のマッチング支援（展示会等出展支援）

就農相談、企業等農業参入支援に関すること

産地・市場の連携に関すること

販売協力店等に関すること

輸出に関すること

愛知県は農業産出額で会員中5番目

東京都中央卸売市場で出荷額で3番目の位置にある。

第40回全国カキ研究大会が愛知で盛大に開催されました

第40回全国カキ研究大会が平成24年8月28日(火)及び29日(水)の2日間において愛知県で開催されました。全国カキ研究大会の本県における開催は平成2年以来22年ぶりです。

本大会には、県外から298名、県内から352名の合計650名が参加し、盛大に開催されました。

1 大会の趣旨について

この大会は、全国のカキ生産者が一堂に会して、カキ生産の技術・流通における問題を検討し、生産技術等の向上に資するとともに、交流を通してカキ生産者の相互連携を深めることを目的に、カキ主産県で隔年開催されています。

今回の大会は、県内果樹生産者の団体である愛知県果樹振興会、農業団体、県内カキ主産地のJA及び市町、県等で実行委員会を組織し、昨年8月から大会準備・運営を行ってきました。

2 大会内容について

近年、消費者のくだもの離れが進む中、消費者ニーズを改めて見つめ直し「売れるくだもの作り」を目指す必要があります。

このことから、今大会のテーマを「カキで儲けるための戦略」～消費拡大、輸出、6次産業化の可能性を考える～に設定しました。

この大会テーマのもと、大会1日目は豊橋市のライフポートとよはしを会場に、式典や基調講演、事例発表が行われ、大会2日目は、県外からの参加者を対象に、本県の主要カキ産地である豊橋市、新城市、幸田町の産地視察が行われました。

(1) 研究大会でカキ産地の活性化、消費拡大について研究

基調講演では「食」とそのプロモーションを通じた地域活性化のプロデュースを専門とする(株)地域活性プランニング代表取締役の藤崎慎一氏から、「カキ産地の活性化に向けた提言」と題して講演をいただきました。藤崎氏の講演は非常に好評で、当日の夜の交流会でも、藤崎氏を囲んで産地活性化に向けた数多くの意見が飛び交いました。

事例発表は、奈良県、福岡県、愛知県の代表者から、それぞれの地域で行われているカキの消費拡大に関する取組について発表がありました。一部の発表では、マスコットキャラクターがテーマソングにあわせてダンスを披露するなど、活気のある事例発表となりました。

また、式典において、果樹栽培技術の改良開発や経営改善、産地振興に貢献したことが評価され、地元豊橋市のカキ生産者である本多市喜夫氏に全国果樹研究連合会会長賞が授与されました。

(2) 県外参加者による県内主要カキ産地の視察

産地視察は、県外からの参加者が3つにコースに分かれて、それぞれ豊橋、新城、幸田の3地域のうち2地域のカキ栽培園等を視察しました。

豊橋市では、石巻地区の今川氏の次郎柿園を、新城市では、稲木地区の藤田氏の次郎柿園と日吉地区の古田氏の富有柿園を、幸田町では、長嶺地区筆柿団地の中の安藤氏の園と、JAあいち三河の筆柿選果場、国道23号沿いの道の駅「筆柿の里」を視察しました。

視察地では、受入産地の関係者による歓迎のセレモニーや、お茶や地域特産品の振る舞いなどの充実したおもてなしの実施により、多くの参加者に満足していただいた視察となりました。

これは、いずれの産地においても、園主を始め生産者、JA、市町、県が一体となって、視察受入の準備を進め、参加者が快く視察できるように園地を整備した結果です。



写真1 大会式典の様子



写真2 藤崎氏による基調講演



写真3 視察園主による説明



写真4 視察者へのおもてなし

担当者として感じた花き販売の現状と県内花き産地に向けた提案

愛知県は言わずと知れた花の産出額第1位の県で、その額も他の県を大きく引き離しています。(平成22年産出額533億円 第2位千葉県・福岡県同額191億円)

このことは国内最大手の花き市場においても当然知られていることと認識していました。

ところが、セリ場では愛知が花きの大産地ということはあまり知られていないようでした。

現在の花きの販売は、セリではなく前売り中心となっています。そのため県内の産地は前売り販売を強化するために出荷情報の収集や精度向上に努めてきました。

前売りの販売率が向上した分、セリ場で販売される品目および数量は少なくなりました。その分販売単価は安定し、販売金額の向上ないし維持につながりましたが、セリ場での愛知の知名度は低下したと思います。

昨年11月に大田市場内の仲卸店頭で行った愛知花フェアのアンケート調査では、「愛知県の花き産出額が全国1位ということを知っていますか」という問いに「知らなかった」と回答された方が約7割を占めました。

また要望や意見を伺ったところ「生産地の情報がほしい」との意見を多数いただきました。

前売り中心に購入する場内・場外仲卸の仕入担当には、愛知県の産地規模や栽培品目は知られていません。

しかしながら、セリを中心に購入する小売店の買参人や場内仲卸の店頭で花を購入する買い出し人、また、仲卸へ注文や配達等を依頼して購入している生花店などは、愛知県が花の大産地であることは思ったほど知られていないのが現状でした。

こうした状況のため、愛知県が花の大産地であることを消費者とその消費者に近い生花店の販売員に知ってもらうこと、仕入の際に優先して選んでもらえる産地になる必要があると思います。



生花店での産直商品の販売

産地PRのため産地表示などの手段が考えられますが、都内の生花店においても産地表示を実施している生花店はまだ少なく、一部の店舗に留まっています。

今後産地表示を拡大するためには、単純に表示の依頼をするだけでなく、産地表示がしやすい環境をつくる必要があります。

量販店(スーパー)からも産地表示をして差別化販売をしたい要望も聞いています。

今以上に愛知県産を選んでもらうには、

インターネット上で閲覧できるホームページやブログ等での産地紹介。

販売員向けの産地情報や栽培のこだわりポイント、品目特性(長所、短所)等を記したデータやパンフレットの作成。

一般消費者向けの取扱説明書や簡単な産地情報を記載した小型のチラシの作成。

生産者による生花店店頭での販促活動の実施。

花育による産地のPR

等の取り組みが必要だと思えます。

これらの取り組みを実践し、愛知の花の販売を伸ばしていきたいと思えます。



生花店店頭にて生産者による花の無料配布



市場イベントでの花育および産地PR

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋市中心卸売市場（品目：次郎柿）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	うち愛知産		
23年実績	279	144 (52%)	290	277	三重 (26%)
24見通し	500	-	280	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知中心に三重などから入荷する。玉の肥大期の8月後半から9月にかけての雨により順調に肥大。着果も良好で生育は順調。台風の影響は今のところ無い。入荷量は不作だった前年を大幅に上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>			<p>種無しの品種の人気が高い。柿全体では和歌山産の渋柿の種無しが人気が高い。柿の消費量が伸びないなか、岐阜の冬柿のネームバリューに対抗するためにも、宣伝や売り込みが必要。地産地消などの取組に力を入れてもらいたい。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：次郎柿）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	うち愛知産		
23年実績	451	419 (93%)	308	300	静岡 (5.8%) 埼玉 (0.3%)
24年見通し	950	-	270	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知中心に静岡などから入荷する。春先の低温で開花はやや遅れたが、現状は平年並み。着果量が多く玉伸びも順調で、2L中心を予想。入荷量は全国的に裏年だが、生理落果が多く不作だった前年を大幅に上回り、価格は前年をかなり下回る見込みである。</p>			<p>「りんご」「みかん」など競合する果実が本格化する時期にあたる。果実全体に販売環境が厳しい中で、いかに安定した品質の「柿」を消費者に提供できるのかが重要となる。このため、選果選別の徹底はもとより、予約販売に向けた的確な出荷情報の提供が求められる。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の10月の見通し

名古屋中央卸売市場

9月14日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
			上旬	中旬	下旬	
野菜	19年	41,928	194	195	191	北海道 38%
	20年	41,495	185	202	186	長野 19%
	21年	41,407	165	158	169	群馬 8%
	22年	34,154	233	216	223	茨城 7%
	23年	36,104	212	250	222	
計	5カ年平均	39,018	198	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	38,300	175	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
九州は豪雨、北海道は長雨に対して中京、関東圏は干ばつ気味。果菜類は天候に恵まれ数多く出荷されたため単価安。北海道産品は悪天候の影響を受け、生育が悪く小玉傾向。 入荷量は前年をかなり上回り、単価は前年を大幅に下回る見込み。						
だい	19年	2,925	99	120	92	青森 40%
	20年	3,084	91	138	74	北海道 34%
	21年	3,416	55	55	52	新潟 11%
	22年	2,323	103	130	84	石川 5%
	23年	2,707	117	185	105	
こ	5カ年平均	2,891	91	122	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	2,400	100	120	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
北海道及び青森中心の入荷となる。北海道では高温や降雨の影響を受け、品質は悪い。愛知と岐阜からも入荷するが天候しだいで出荷時期の遅れが出るおそれがある。 入荷量、価格ともに前年をかなり下回る見込み。						
に	19年	3,335	111	104	109	北海道 90%
	20年	3,418	108	117	109	青森 9%
	21年	3,020	108	105	119	中国 1%
	22年	2,314	154	160	155	愛知 0%
	23年	2,753	133	161	161	
じ	5カ年平均	2,968	120	127	128	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	2,800	110	110	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
北海道中心の入荷となる。天候不順の重なった前年よりも多く入荷する見込みなので価格は下がり販売は厳しくなる見込み。 入荷量は前年並みの見込み。価格は数が少なく高めだった前年を大幅に下回る見込み。						

東京都中央卸売市場

9月24日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	19年	140,172	219	227	215	216	北海道 27%
	20年	143,711	205	220	220	205	茨城 13%
	21年	146,454	177	168	179	184	長野 11%
	22年	130,018	245	283	226	230	千葉 10%
	23年	136,379	223	268	227	183	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	139,347	213	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し		141,000	200	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、東北からの入荷が減少し、関東産地からの入荷が本格化する。前年は各産地ともに台風などの天候不順の影響で出荷量が減り、単価高となったが今年は、各品目とも生育は概ね順調である。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
だいこ	19年	12,916	93	115	87	78	北海道 38%
	20年	13,795	83	131	68	53	青森 27%
	21年	14,596	52	57	47	52	千葉 24%
	22年	12,341	102	124	81	100	岩手 5%
	23年	13,391	102	161	91	69	(愛知産比率 -%)
	5カ年平均	13,408	85	118	75	70	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し		13,500	85	85	85	85	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>東北、北海道が終盤を迎え、関東産地からの入荷が始まる。昨年、北海道は少ないまま終了したが今年は潤沢にあり安定した出荷が見込まれる。東北も同様。千葉は高温・干ばつから播種時期が遅れたこともあり少なめの出荷見込み。 全体では入荷量は前年並が見込まれ、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>							
にんじん	19年	8,357	116	114	114	120	北海道 89%
	20年	8,326	114	121	119	104	青森 6%
	21年	8,410	117	115	120	115	中国 3%
	22年	8,110	150	158	152	142	千葉 1%
	23年	8,065	140	155	152	114	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	8,254	127	132	131	119	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し		8,100	110	110	110	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道中心の入荷となる。北海道は現況、8月の高温と降雨の影響を強く受け小ぶりである。10月に入れば若干回復に向かうが影響は残る。 入荷量は少なかった前年並であるが、昨年に比べ品質低下もあり価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	19年	4,804	85	81	89	86	長野 93% 北海道 3% 茨城 2%
	20年	4,185	82	111	75	64	
	21年	3,960	55	59	48	58	
	22年	3,589	86	109	72	79	
	23年	3,704	99	188	119	56	
	5カ年平均	4,048	81	107	81	69	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	3,600	80	90	80	70		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野中心の入荷となる。9月からは小売店の販売面積も広がり売れ行きは良い。ほうきさいを使った漬物加工品が0157の影響で生産を減らしている。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
キャベツ	19年	4,743	80	79	76	85	群馬 49% 茨城 15% 長野 15%
	20年	4,603	74	81	71	71	
	21年	4,584	63	70	60	59	
	22年	3,752	106	110	95	115	
	23年	4,721	89	111	89	77	
	5カ年平均	4,481	82	90	78	80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	4,700	60	60	60	60		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、茨城などの関東産地を中心に長野、北海道から入荷する。群馬は順調な生育状況であるため、そのまま順調な入荷が見込まれる。 入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ほうれんそう	19年	370	617	766	618	516	岐阜 48% 愛知 41% 長野 4% 千葉 2%
	20年	360	552	920	533	407	
	21年	308	578	546	743	504	
	22年	334	564	842	544	427	
	23年	302	626	965	675	452	
	5カ年平均	335	587	810	618	461	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	320	620	640	620	600		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>10月までは岐阜中心の入荷が続く。岐阜は中旬までは安定して出荷を続け、順次終了していく。10月後半からは愛知産の入荷が増加してくる。愛知は稲沢のハウス物が順調な生育状況。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	19年	13,000	76	81	82	67	長野 70%
	20年	13,022	70	107	67	47	茨城 18%
	21年	13,101	44	51	41	42	北海道 7%
	22年	13,881	85	113	69	74	群馬 4%
	23年	12,903	99	177	108	48	(愛知産比率 -%)
さい	5カ年平均	13,181	75	106	73	56	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
い	24年見通し	13,500	50	50	50		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野及び茨城からの入荷となる。長野は干ばつの影響等はあるものの基本的に生育は順調。茨城は定植遅れがあるもの今後の天候次第で回復見込み。全体としては不足感はない。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
キヤベツ	19年	15,175	75	76	74	76	群馬 59%
	20年	15,337	69	80	65	62	千葉 20%
	21年	17,355	57	68	53	51	茨城 9%
	22年	14,373	106	117	93	109	岩手 7%
	23年	15,747	88	109	87	71	(愛知産比率 1%)
さい	5カ年平均	15,597	78	90	74	74	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
い	24年見通し	16,000	80	80	80		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地中心の入荷で北海道、東北産は減少する。群馬は干ばつ気味で病害の発生も少なく、9月に引き続き生育は良好。千葉は干ばつの影響で植え付けの作業遅れあり。</p> <p>入荷量は前年並が見込まれ、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ほうれんそう	19年	1,706	534	612	538	471	群馬 34%
	20年	1,792	464	731	419	345	栃木 19%
	21年	1,597	478	391	647	447	茨城 14%
	22年	1,590	535	751	475	464	千葉 10%
	23年	1,367	546	845	532	404	(愛知産比率 0%)
さい	5カ年平均	1,610	510	666	522	426	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
い	24年見通し	1,450	520	540	520	500	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地中心の入荷となる。全体的に現況、高温の影響で遅れ、数量減となっているが回復傾向。今後の天候次第であるが順調な出荷が見込まれる。</p> <p>入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は高かった前年をやや下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	19年	1,395	399	457	377	373	北海道 43%
	20年	1,423	325	378	309	289	長野 13%
	21年	1,428	326	326	351	306	富山 8%
	22年	1,227	411	517	356	374	愛知 8%
	23年	1,334	299	404	290	241	
ぎ	5カ年平均	1,361	351	413	336	316	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	1,400	300	350	300	250	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>北海道中心の入荷となる。北海道産品は雨など天候不順の影響もあり、やや細めだが順調な出荷が見込まれる。愛知の長ねぎは昨年並みの入荷見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みとなる見込み。</p>					
レ	19年	2,050	182	224	174	155	長野 54%
	20年	1,870	179	240	174	137	茨城 44%
	21年	1,936	88	74	90	100	兵庫 1%
	22年	1,446	249	405	206	187	愛知 1%
	23年	1,751	170	240	179	124	
ス	5カ年平均	1,810	170	227	162	139	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	1,800	150	170	150	130	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>産地の中心が高冷産地から平坦地へと移り変わる。長野は早めに終了見込であり、10月中旬から下旬までの入荷となる。準高冷地産は作付の減少から高値。平坦地は干ばつの影響が出ている。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
き	19年	1,536	308	292	293	342	群馬 38%
	20年	1,454	317	391	275	294	埼玉 20%
	21年	2,316	221	166	233	276	山梨 13%
	22年	1,291	335	380	254	395	長野 10%
	23年	1,324	326	398	290	314	
り	5カ年平均	1,584	292	305	265	318	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	1,350	310	350	280	300	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>関東産地中心に入荷する。夏秋ものの切り上がり早い見込み。10月中旬から下旬にかけて順調な出荷が見込まれる。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	19年	5,761	314	403	274	270	青森 28%
	20年	6,254	232	314	209	180	秋田 14%
	21年	5,545	255	275	267	229	山形 11%
	22年	5,272	340	428	289	309	北海道 11%
	23年	5,879	202	259	196	164	(愛知産比率 -%)
ぎ	5カ年平均	5,742	267	336	247	230	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	5,800	220	230	220	210	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>青森、秋田に加え、関東産地からの入荷が増加。東北各県の作柄は、天候の変動により病害の発生も散見されるが基本的に生育は順調。 入荷量は順調に入荷した前年並となる見込み。価格は安値であった前年をかなり上回るものの平年比安となる見込み。</p>					
し	19年	8,726	158	189	155	133	茨城 56%
	20年	8,409	161	212	158	123	長野 32%
	21年	9,670	75	62	82	85	栃木 6%
	22年	7,877	236	391	189	167	群馬 4%
	23年	8,686	163	221	169	113	(愛知産比率 0%)
す	5カ年平均	8,674	155	215	151	124	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	8,800	130	130	130	130	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>茨城、長野からの入荷が中心となる。茨城は干ばつの影響で若干遅れがみられたものの回復し豊作型。終盤の長野も順調な出荷が見込まれる。 入荷量は順調に入荷した前年をさらにやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
き	19年	6,245	278	260	269	308	埼玉 30%
	20年	6,485	290	351	251	264	群馬 22%
	21年	6,349	216	159	265	233	茨城 13%
	22年	5,498	315	340	243	392	福島 12%
	23年	6,196	296	351	266	283	(愛知産比率 -%)
り	5カ年平均	6,155	278	291	259	196	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	6,400	240	220	240	260	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>関東産地中心の入荷となる。埼玉は、気温高で品質低下が散見されるものの、順調な出荷が見込まれる。他産地も同様の傾向。 入荷量は前年をやや上回る見込みで、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	19年	744	279	282	264	294	愛知 28%
	20年	736	269	326	256	235	熊本 27%
	21年	675	253	150	314	366	山梨 16%
	22年	851	248	307	220	223	徳島 12%
	23年	666	336	506	338	259	
す	5カ年平均	734	275	313	275	272	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	750	240	210	260	240	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 単価 円/kg		
		愛知、熊本中心の入荷となる。山梨からの入荷は減少する。長なす、千両なすが入荷する。10月に入る前に端境期となり入荷減少で高値となるが、徐々に入荷量は増加し安値となる見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。					
マ	19年	1,003	448	382	451	552	岐阜 21%
	20年	1,108	387	464	417	311	愛知 20%
	21年	1,363	272	245	276	301	北海道 17%
	22年	917	494	635	458	421	千葉 12%
	23年	941	484	723	580	321	
ト	5カ年平均	1,066	405	468	423	374	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	950	400	420	400	380	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 単価 円/kg		
		岐阜、愛知中心の入荷となる。北海道、東北産は切り上げが早まる見込み。愛知、熊本の入荷が始まるが量は少なく、今後の天候次第だが品薄になる見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に下回る見込み。					
ミ	19年	261	771	709	775	841	北海道 50%
	20年	283	649	672	751	527	愛知 26%
	21年	334	520	527	544	494	熊本 10%
	22年	235	1,025	1,237	1,159	693	
	23年	284	912	1,051	1,031	720	
マト	5カ年平均	279	758	816	832	645	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	260	750	750	750	750	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 単価 円/kg		
		北の産地から南の産地へ地の切り替わりの時期。北海道中心の入荷だが入荷量は前年より少なく、切り上がりも早い。熊本、愛知は8月の暑さの影響がでて入荷量全体では少なめの見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。					

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	19年	3,749	308	359	294	274	高知 29%
	20年	4,107	247	348	215	197	栃木 22%
	21年	3,435	221	173	307	313	茨城 15%
	22年	3,907	245	308	222	211	群馬 14%
	23年	3,366	334	486	314	262	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	3,713	270	335	270	251	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	3,500	280	260	280	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地に加え、西南暖地からの入荷が始まる。高知は花着き、着果とも概ね順調。栃木は高温の影響で花落ち等はあるものの昨年のような台風の影響もなく順調な出荷が見込まれる。入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
		<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移。数量は11月～10月にかけて増加傾向にある。単価は11月～10月にかけて減少傾向にある。</p>					
ト マ ト	19年	5,817	428	357	443	507	千葉 24%
	20年	6,327	373	444	394	302	茨城 18%
	21年	7,681	266	239	269	294	青森 11%
	22年	5,376	475	591	420	428	福島 10%
	23年	5,868	467	680	502	319	(愛知産比率 7%)
	5ヵ年平均	6,214	392	462	406	370	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	5,800	390	390	390	390	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>東北産地は終盤を迎え、関東産地からの入荷が中心となる。千葉は猛暑の影響で現況、小玉傾向。茨城についても同様で、開花の遅れや着花不良等が散見される。青森は切り上がりは前年より早い。入荷量は少なかった前年並の見込みで、価格は9月からの高値の反動でやや下げ基調で前年をかなり下回る。</p>					
		<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移。数量は11月～10月にかけて増加傾向にある。単価は11月～10月にかけて減少傾向にある。</p>					
ミ ニ ト マ ト	19年	1,159	717	663	728	761	茨城 21%
	20年	1,263	618	608	708	549	千葉 16%
	21年	1,570	466	486	478	441	愛知 15%
	22年	1,045	923	1,154	1,010	658	北海道 13%
	23年	1,203	863	938	1,040	649	(愛知産比率 14%)
	5ヵ年平均	1,248	696	770	793	612	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	1,200	800	800	800	800	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道は終盤を迎え、関東産地と愛知からの入荷が増えてくる。各産地とも、夏の猛暑に続き残暑の影響は受けたものの前年並の出荷が期待できる。入荷量は平年をやや下回るものの前年並が見込まれ、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
		<p>数量 (トン) と単価 (円/kg) の推移。数量は11月～10月にかけて増加傾向にある。単価は11月～10月にかけて減少傾向にある。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	19年	510	352	330	351	375	茨城 40% 岩手 21% 鹿児島 12% (愛知産比率 0%)
	20年	524	306	257	348	313	
	21年	541	229	139	224	368	
	22年	461	415	508	382	377	
	23年	445	380	392	475	339	
マン	5カ年平均	496	332	317	351	354	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	450	350	350	380	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、岩手、北海道を中心に入荷する。北海道は10月中旬まで夏秋ものの残りを出荷する。10月中旬より産地は宮崎、鹿児島などの西南産地に移行する。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ばれいしょ	19年	3,553	74	74	71	76	北海道 100% 青森 0% 愛知 0% (愛知産比率 0%)
	20年	3,516	74	74	76	72	
	21年	3,292	97	105	111	83	
	22年	2,729	142	159	154	117	
	23年	2,709	109	125	117	94	
いしょ	5カ年平均	3,160	97	104	103	87	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	2,800	70	70	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷が中心となる。長雨などの天候不順により、生産地域により大きさのばらつきが出ている。洞爺湖周辺地域は大玉傾向だが、L、Mの小玉の地域もある。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	19年	6,070	61	62	60	62	北海道 95% 中国 3% アメリカ 2% 兵庫 1%
	20年	6,034	69	73	67	67	
	21年	6,108	80	82	82	78	
	22年	4,503	119	118	125	113	
	23年	4,226	93	106	105	83	
ねぎ	5カ年平均	5,388	82	85	84	79	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	6,000	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷が中心となる。作柄は良好。10月は出荷のピークを迎え、前年、平年を超える入荷となるために安値になる見込み。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	19年	2,054	317	289	311	357	茨城 72%
	20年	2,139	285	245	356	265	岩手 11%
	21年	2,151	220	121	222	337	福島 6%
	22年	1,705	406	489	386	346	青森 5%
	23年	1,804	327	363	402	240	(愛知産比率 -%)
マン	5カ年平均	1,971	306	301	335	309	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	2,000	280	280	300	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城と東北産地中心の入荷となる。茨城の生育は若干花落ちの段と害虫被害もみられるものの概ね順調。東北産の残量は多い見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
ばいしょ	19年	8,536	84	81	85	86	北海道 99%
	20年	8,133	93	94	94	92	(愛知産比率 0%)
	21年	7,620	121	118	120	123	
	22年	7,248	156	158	157	152	
	23年	7,192	122	123	124	120	(愛知産比率 0%)
いしょ	5カ年平均	7,746	114	115	116	115	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	7,900	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷が中心となる。ここ2年の小玉傾向も解消され、今年はいもの肥大は順調で豊作型に近い。また、京浜市場仕向けの割合が増加するとの予想もある。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	19年	12,137	68	67	68	69	北海道 88%
	20年	11,484	79	80	80	78	中国 8%
	21年	9,959	100	101	100	99	米国 3%
	22年	9,618	135	135	135	135	(愛知産比率 -%)
	23年	10,581	100	103	100	97	
ねぎ	5カ年平均	10,756	95	97	97	96	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	1,100	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷が中心で価格次第では輸入物が増加する。北海道は一部産地を除き総じて順調な生育で前年を超える出荷量が見込まれる。系統出荷に加え今年は商系の出荷増も予想される。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	19年	15,183	271	300	264	249	三重 19%
	20年	15,873	233	244	235	221	和歌山 15%
	21年	14,579	216	235	213	201	長野 15%
	22年	12,196	285	324	282	250	フィリピン 14%
	23年	13,154	262	307	269	233	
	5カ年平均	14,197	252	-	-	-	
	24年見通し	13,200	240	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>三重、和歌山、長野中心に入荷。みかんは裏年。かきは豊作。りんごは高温により少なめの見込み。日焼け影響もあり日持ちは悪い。果樹の後継者不足は解消されていない。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
み か ん	19年	4,447	216	272	212	179	三重 60%
	20年	4,845	185	195	180	182	熊本 15%
	21年	4,450	167	193	160	156	和歌山 9%
	22年	3,228	221	261	228	188	静岡 6%
	23年	4,113	174	224	187	148	
	5カ年平均	4,217	191	-	-	-	
	24年見通し	4,000	180	220	190	180	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>三重、熊本を中心に入荷。三重産は春先の低温による開花遅れの影響を受け、M、S中心の小玉傾向。熊本産は雨のため日照時間が短く生育期間が短かったために小玉傾向。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
か き	19年	2,283	254	273	228	262	和歌山 75%
	20年	2,549	199	216	211	180	岐阜 10%
	21年	2,568	186	193	192	178	愛知 7%
	22年	1,648	323	369	310	303	三重 4%
	23年	2,225	260	291	251	260	
	5カ年平均	2,254	237	-	-	-	
	24年見通し	2,400	200	200	200	200	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>和歌山を中心に入荷する。和歌山からは刀根早生が入荷。夜間気温が高いので着色遅れが出て出荷が少し遅れる。岐阜からは10月後半から早生品種が入荷。三重、愛知からは次郎柿が入荷。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は品薄で高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	19年	52,565	264	288	262	245	和歌山 12%
	20年	56,692	229	239	229	220	熊本 10%
	21年	57,281	207	225	205	194	フィリピン 9%
	22年	45,135	276	310	271	249	青森 8%
	23年	46,781	265	291	265	247	(愛知産比率 2%)
	5カ年平均	51,691	246	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	51,000	250	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
みかん、かき、なし、りんご中心に入荷。りんごは「つがる」に「シナノスイート」「ジョゴ-ド」「ふじ」が加わっての入荷となる。生育は良好だが、高温の影響で着色が遅れている。果物全体の入荷量は不作だった前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回ると見込まれる。							
みかん	19年	17,935	196	303	200	171	熊本 32%
	20年	17,805	165	190	158	152	愛媛 19%
	21年	18,947	149	184	142	132	長崎 18%
	22年	12,648	201	265	197	167	佐賀 14%
	23年	14,156	187	226	185	172	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	16,298	178	231	174	157	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	13,500	185	220	180	180	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
熊本中心に長崎、佐賀などの九州産地や愛媛などから「極早生」中心に入荷する。本年産は裏作にあたるが、着果状況は良好。やや小玉だが高糖度で食味は良好。入荷量は前年をやや下回り、価格も前年並みが見込まれる。							
かき	19年	9,165	252	273	237	252	和歌山 48%
	20年	10,049	219	231	224	208	奈良 24%
	21年	10,856	193	190	198	192	新潟 6%
	22年	6,752	320	384	303	297	福岡 4%
	23年	9,117	263	292	253	253	(愛知産比率 7%)
	5カ年平均	9,188	243	264	238	235	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	10,900	240	280	230	220	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
和歌山中心に奈良、愛知、新潟等から入荷する。前半は「刀根早生」後半からは「平核無」中心に入荷。ここ数年不作であったが、今作は生育順調で、入荷量は不作だった前年を大幅に上回り、価格は前年をかなり下回ると見込まれる。							

切花・鉢花の10月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 9月25日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実 績	19年	2,809	60	
		20年	2,585	51	
		21年	2,185	51	
		22年	1,824	46	
		23年	1,802	61	
	5ヶ年平均	2,241	54		
24年見通し	1,980	55			
概要	愛知、三重、長野を中心に入荷。高冷地産は順次減少し、彼岸後の冷え込みもあり、上旬はあまり多くない。周年出荷産地の品種も秋冬品種に切り替わっていくため、品種の揃いは下旬まで安定ない。				
小 ぎ	実 績	19年	1,325	36	
		20年	1,270	23	
		21年	1,032	28	
		22年	964	20	
		23年	888	42	
	5ヶ年平均	1,096	30		
24年見通し	980	30			
概要	愛知、長野、奈良等から入荷。山間地の出荷物は終盤に向い、地物中心となっていく。早魅ぎみであったが、降水もあり、今後台風の影響がなければ、平年並みの出荷が見込まれる。				
カー ネ ー シ ョ ン	実 績	19年	1,518	36	
		20年	1,304	37	
		21年	1,181	34	
		22年	1,152	40	
		23年	1,281	38	
	5ヶ年平均	1,287	37		
24年見通し	1,400	35			
概要	長野、北海道、愛知を中心に入荷。高冷地産は7月の集中出荷で、全体的に前進傾向となっており、10月からは減少し、長い物に関しては品薄傾向と思われる。				
か す み	実 績	19年	158	105	
		20年	126	122	
		21年	123	93	
		22年	76	142	
		23年	61	175	
	5ヶ年平均	109	119		
24年見通し	75	140			
概要	長野、北海道、福島、熊本、和歌山から入荷。高冷地から暖地への切り替わりとなり、数量は少ない。ブライダル需要で価格は堅調。7～9月の天候が不安定だったため、品質面が心配される。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	実績等					
ゆり	実績	19年	467	164		
		20年	405	165		
		21年	344	160		
22年		368	184			
23年		411	172			
5ヶ年平均	399	169				
24年見通し	400	175				
概要	OHは新潟、岐阜、高知、埼玉、静岡から入荷。夏場の高温で遅れて出荷される産地もあり、平均した入荷。LAは彼岸用の出荷後となり、入荷は少ない。同様に鉄砲も産地が切り替わり、数量は少なめ。ユリ系は全体に相場堅調が見込まれる。					
洋らん	実績	19年	526	79		
		20年	500	75		
		21年	426	68		
22年		521	68			
23年		608	65			
5ヶ年平均	516	71				
24年見通し	650	70				
概要	愛知、静岡、鹿児島、輸入物が入荷。天候により国内物が入荷が左右されそうだが、輸入物に関しては影響は少なく、安定した入荷が予想される。					
ばら	実績	19年	1,124	76		
		20年	1,141	76		
		21年	1,095	67		
22年		1,109	72			
23年		1,030	73			
5ヶ年平均	1,100	73				
24年見通し	1,100	73				
概要	愛知、岐阜、三重、和歌山を中心に入荷。夜温も下がり、品質面でもよくなってきている。週末の日柄もよく、ブライダル需要もかなり増える見込みで、堅調な販売となろう。					
枝も	実績	19年	1,832	45		
		20年	1,705	44		
		21年	1,458	43		
22年		1,753	43			
23年		1,892	28			
5ヶ年平均	1,728	40				
24年見通し	1,800	35				
概要	季節感のあるツルウメ、つのナス、実バラ等の実物が長野、岐阜を中心に入荷。花展等もあり、引合いは強くなりそう。日柄もよいため、ブライダル需要も期待できる。					

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ	実績	19年	35,751	686	
		20年	25,116	727	
		21年	21,406	666	
		22年	23,553	699	
		23年	27,488	737	
	5ヶ年平均		26,663	703	
	24年見通し		28,000	730	
概要	<p>入荷量は昨年より増加か。昨年同様ユッカ、コンシを主体とし大・中・小とすべてにおいて入荷は多い見込み。 昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(56.8%)、2位鹿児島(16.5%)、3位沖縄(13.8%)となっている。</p>				
シャコバサボテン	実績	19年	99,284	406	
		20年	77,832	385	
		21年	81,947	344	
		22年	60,104	376	
		23年	61,253	448	
	5ヶ年平均		76,084	391	
	24年見通し		61,200	400	
概要	<p>愛知、関東ともに作付の大幅変更は無く、入荷量も昨年並みか。ただ、近年需要期が遅くなっている為、価格面では昨年を下回る見込み。 昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(71.0%)、2位埼玉(25.4%)、3位茨城(3.6%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	19年	569,393	185	
		20年	591,078	197	
		21年	638,715	180	
		22年	504,016	184	
		23年	628,281	185	
	5ヶ年平均		586,297	186	
	24年見通し		620,000	185	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。昨年同様ガーデンシクラメンの作付けは増加傾向にあり、中旬以降から増加の見込み。5号鉢が減少し、4号鉢は増加傾向となっている。残暑の残る上旬は価格面も厳しいと予想され、中旬以降より相場も安定か。 昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位長野(30.5%)、2位愛知(30.0%)、3位北海道(15.4%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	19年	11,683	1,802	
		20年	9,807	2,227	
		21年	7,369	2,060	
		22年	4,307	1,808	
		23年	8,765	2,201	
	5ヶ年平均		8,386	2,031	
	24年見通し		8,700	2,200	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。昨年同様に早生品種作付が多い。年々、アーチ仕立てが増加傾向であり、単価も2,000円台を予想。 昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(65.0%)、2位静岡(7.6%)、3位徳島(7.4%)となっている。</p>				
カラコエ	実績	19年	54,484	189	
		20年	61,475	202	
		21年	63,148	202	
		22年	47,561	200	
		23年	50,809	201	
	5ヶ年平均		55,495	199	
	24年見通し		50,000	200	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。全サイズ安定した入荷の見込み。5～6号鉢の単価は安定するものの、2.5号鉢は厳しそう。 昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位岐阜(44.7%)、2位埼玉(44.5%)、3位愛知(4.3%)となっている。</p>				
パンジー	実績	19年	654,950	54	
		20年	869,903	49	
		21年	943,282	45	
		22年	602,791	50	
		23年	961,088	46	
	5ヶ年平均		806,403	48	
	24年見通し		970,000	48	
概要	<p>入荷量は昨年より増加か。需要と重なり相場も安定と予想。後半も安定した流れに。 昨年10月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(43.0%)、2位奈良(12.6%)、3位三重(9.8%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2012年)

1 輸入実績

品名	7月						7月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	72,788	150.0	6,436,441	136.6	88	91.1	581,423	113	52,236,848	117	90	103
トマト	698	274.2	286,911	412.4	411	99.3	3,030	245	1,076,517	286	355	117
たまねぎ	33,135	164.1	1,523,286	270.8	46	165.0	219,816	99	8,170,639	85	37	86
にんにく	1,843	93.4	372,364	132.2	202	141.6	11,679	116	1,525,099	71	131	61
ねぎ	4,118	95.3	475,292	124.9	115	131.1	30,186	100	3,742,685	146	124	146
ブロッコリー	3,480	95.9	552,055	101.8	159	106.1	30,915	164	4,565,544	145	148	88
結球キャベツ	1,361	72.9	41,024	77.8	30	106.7	30,680	147	1,134,110	166	37	113
にんじん・かぶ	11,021	181.0	476,980	159.5	43	88.1	55,510	111	2,654,557	111	48	100
ごぼう	4,888	106.4	228,285	88.0	47	82.7	27,597	112	1,508,336	68	55	61
えんどう	155	71.6	44,534	62.2	288	86.9	1,892	149	675,634	189	357	127
アスパラガス	226	119.2	130,050	121.5	574	101.9	10,681	141	4,592,705	126	430	90
まつたけ	145	135.2	512,436	128.7	3,544	95.3	145	134	513,348	126	3,548	94
しいたけ	116	79.5	34,689	85.4	299	107.4	2,613	91	877,533	117	336	129
かぼちゃ	1,471	388.5	120,267	387.5	82	99.7	99,373	112	6,528,237	116	66	104
果実(生鮮・乾燥)	182,612	106.7	22,944,303	111.3	126	104.4	1,232,027	105	147,033,415	107	119	102
バナナ	98,017	106.3	6,788,262	97.3	69	91.5	658,735	103	43,694,246	99	66	96
パイナップル	18,944	116.1	1,120,655	111.4	59	95.9	105,787	115	6,225,752	114	59	99
レモン	8,737	131.9	855,642	123.6	98	93.7	33,937	114	3,805,799	118	112	103
オレンジ	9,611	90.4	964,778	98.3	100	108.7	99,078	117	9,523,871	119	96	102
グレープフルーツ	15,198	76.4	1,151,145	83.2	76	108.9	116,581	95	10,348,088	100	89	105
メロン	2,244	111.1	200,035	113.6	89	102.2	17,946	85	1,966,696	90	110	106
ぶどう	630	297.3	159,146	301.5	253	101.4	13,469	159	2,674,472	186	199	117
キウイ	6,920	103.5	2,236,460	102.1	323	98.7	41,863	101	14,276,759	110	341	108
いちご	511	104.2	421,680	105.7	825	101.5	914	105	740,064	105	810	100
切花(生鮮・乾燥)	3,448	104.5	2,360,415	102.9	685	98.5	24,368	112	18,105,141	118	743	106
鳥獣肉類	165,355	103.7	70,638,109	102.2	427	98.5	1,040,387	97	447,723,900	96	430	98
牛肉(くず肉含む)	50,361	104.0	21,823,599	112.7	433	108.4	291,176	101	123,188,585	102	423	101
豚肉(くず肉含む)	65,676	108.4	34,463,846	108.3	525	99.9	446,238	98	234,123,249	98	525	100
鶏肉	40,548	96.7	8,620,870	68.0	213	70.3	251,110	92	57,891,188	77	231	84
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	147,785	115.8	83,648,311	112.7	566	98.0	1,075,822	110	604,098,441	114	562	104
まぐろ類	15,171	111.4	12,681,110	107.0	836	96.0	125,754	128	107,517,045	129	855	100
さば・さんま・あじ・いわし	4,964	120.4	1,106,560	205.3	223	170.5	51,225	119	9,593,143	136	187	115

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	168	137.5	140,194	131.4	836	95.5	2,344	22	1,361,823	38	581	175
うんしゅうみかん	0	25.6	548	25.4	1,189	99.1	119	80	73,534	76	620	95
りんご	41	91.2	19,010	119.8	463	131.3	1,895	19	846,326	28	447	151
なし	-	-	-	-	-	-	10	48	4,690	54	464	113
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	164,077	94.4	-	-	-	-	1,338,201	116	-	-
緑茶	210	85.8	444,000	102.3	2,112	119.4	1,254	88	2,735,861	99	2,182	113

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成22年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	24年 3月	100.3	108.2	117.9	99.7	101.8
	4月	100.4	105.5	104.5	99.1	101.9
	5月	100.1	100.0	110.2	98.8	100.7
	6月	99.6	91.0	104.5	98.8	102.0
	7月	99.3	89.9	96.0	98.8	101.1
	愛 知 県	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0
24年 3月		100.5	107.4	123.8	100.3	101.9
4月		100.6	106.4	107.3	102.0	103.2
5月		100.3	103.4	114.0	100.7	103.2
6月		100.0	98.2	103.5	99.8	104.7
7月		99.6	93.6	97.5	100.0	101.7

項目 年月		農業物価指数 (平成22年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	24年 3月	114.3	103.1	128.1	142.3	98.5
	4月	108.4	103.1	105.2	141.5	98.3
	5月	105.8	105.0	99.5	145.5	98.9
	6月	95.3	105.1	86.9	113.5	100.7
	7月	95.4	105.1	86.8	103.1	102.6

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、 「コシ加」 以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg									100g	1kg	
22年平均	2,236	158	172	603	419	313	142	314	203	510	615	201	447
24年 3月	2,039	210	247	743	696	310	207	345	226	752	754	162	558
4月	2,048	186	276	691	494	359	232	436	228	530	762	161	602
5月	2,039	226	232	662	427	373	178	429	226	481	664	153	645
6月	2,079	128	194	708	365	304	165	389	232	427	606	154	636
7月	2,118	116	161	707	293	282	141	416	274	446	592	141	684
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg	100g	1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g					
22年平均	604	312	382	143	254	682	603	162	166	326	223	752	479
24年 3月	747	281	376	180	224	849	544	168	181	333	220	805	415
4月		247	351	142	216	903	554	153	179	315	230	830	404
5月		263	359	148	217	808	536	168	163	316	232	805	390
6月		309	343		208	756	533	141	157	302	230	817	400
7月		273	359		203	836	528	144	151	292	226	839	413

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる??

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 472
平成24年10月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421